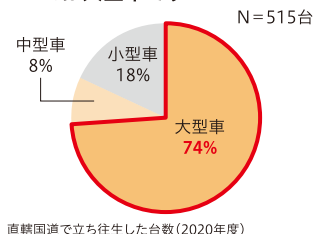


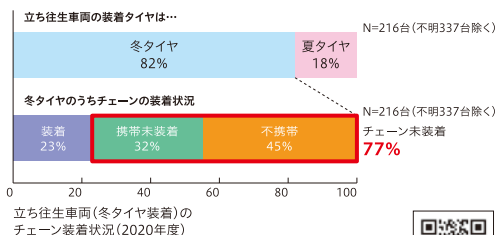
雪道での立往生は交通マヒを誘発 冬用タイヤ、チェーンの準備と装備をお忘れなく

近年、冬季において予想を超える大雪となるケースが増えています。降雪の影響により車両が立ち往生すると、深刻な交通マヒを誘発しかねません。交通渋滞などを引き起こした事業者には監査が行われ、講じた措置が不十分と判断されれば処分の対象となります。積雪・凍結路を走行する場合は、必ず適切な冬用タイヤやチェーンの携行・装着など、細心の注意を払った運転をお願いします。

雪のため立ち往生した車の 74%は大型車です！



立ち往生した車両のチェーン未装着は 77%に上ります！



雪道走行における対策は
こちらから



出発前

雪道対策を万全に整えてから出発を

- 溝の深さが新品時の50%以上ある冬用タイヤを全車輪に装着
- 携行するチェーンの摩耗・損傷の点検と装着の事前練習を
- 出発前に道路・気象情報を確認し、運行の可否や経路を検討



残り溝の深さが「プラットホーム」に達している状態。冬用タイヤとして使用できません。(画像:国土交通省 自動車局提供)

運転中

細心の注意を払い、危険を回避する運転を

- 降雪時には早めのチェーン装着を
- 低速ギヤでゆっくり発進し、タイヤを空転させない
- 急坂道では上り終わるまで低速ギヤを使用し、ギヤチェンジしない
- 急発進、急加速、急旋回および急停止は避け、ブレーキは柔らかく
- カーブに入る前に減速し、速度は控えめに、十分な車間距離をとる
- 冬用タイヤの性能には限界があるので、運転時は細心の注意を払う

出典:国土交通省「雪道での立ち往生に注意!-大型車の冬用タイヤとチェーンについて-」「冬用タイヤの溝深さに注意!-大型車の冬用タイヤに関する使用上の注意点-」「冬の道路交通確保について~「中間とりまとめ」改定を踏まえて~」、公益社団法人 全日本トラック協会「降雪地域を運行する方へ 雪道対策マニュアル」